

5章 県民・国民のコンセンサス

〔今後の課題〕

国の調査審議の状況等を踏まえ、本構想の内容を深めるために重要となる観点を整理し、今後の構想展開につなぐ。

1 新たな課題への調査研究

〔検討例〕

1. 適正な土地利用調整制度・手法
2. 民間（市民を含む）との協働による都市づくり事業・制度・手法
3. 都市と農山村の調和のためのまちづくり手法
4. 広域連携による都市運営システム
5. 那須型ゼロエミッション、ミティゲーションによる地域計画・建設・運営手法

2 県民・国民合意の形成

1. 懸念事項への方向性提示（課題と対応方向）
 - 人口、土地利用、土地投機防止、自然環境保全
 - 交通、都市供給処理系（水循環、廃棄物等）、都市施設
 - 農林業振興、地域の商工業振興
2. 首都機能移転の基本方針（道筋）の明確化と国民への提示・早期決定
 - 目標年次、移転対象、新都市規模・形態、基本工程、手法、役割分担、財源等
3. 効率的・効果的な首都機能移転のための東京との比較考量基準の明示
 - 首都機能に係る都市運営経費
 - （例） 東京に首都 > 新都市に首都（10年で建設費を回収 等）
 - 地方分権・規制緩和、情報化の進展により首都との直接交流を縮減